

■教育目的

病態生理学は、主要な疾患の成り立ちや病態(症状)を学ぶのが目的である。解剖生理に基づいた症状・疾患の成り立ちを理解できるようになることが最も重要。特に主要5臓器について詳しく学習して、それぞれの臓器の主要な病気について自信をもって答えられるようになることを目標とする。黒板とスライドによるオーディオ・ビジュアル授業と症例による演習によって知識を身につける。【卒業認定・学位授与の方針：YD-③、SD-③】

■学習到達目標

1. 主要な臓器の原因疾患の病態生理が説明でき、なぜそういう症状がおきるかが理解できる
2. 主要な疾患の頻度や予後、重症度や患者ケアがわかる
3. ある特定の症状から原因になっている疾患を推定できる
4. 推定した疾患を診断する方法が提案できる
5. 検査の異常値や異常形態について説明できる

■準備学習(予習・復習)

予習：該当臓器や病態の国家試験出題基準の主要疾患(MY-CAST にアップされる)について参考書や web で確認しておく(20分)。

復習：臓器別に授業ノートや参考書を中心にサブノートを作成(60分)。

■授業形態

課題解決型学習、講義

■授業内容

スライドによる講義形式で主要5臓器と全身にわたる4病態を学習する。国家試験の出題基準別表Vに指定されている疾患での病態と症候の部分を中心に学習する。

| No. | 項目 | 授業内容 | SBOコード |
|-----|----------|--|-------------|
| 1 | 病態生理学総論 | 病理学総論、臨床検査学総論、病因論、症候学、画像診断学 | E2(1)~(6) |
| 2 | 循環器 | 心不全、虚血性心疾患、高血圧症、不整脈、弁膜症、先天性心疾患 | E2(3)-① |
| 3 | 呼吸器 | 肺炎、肺結核、気管支喘息、COPD、肺線維症 | E2(4)-① |
| 4 | 消化器 | 胃腸疾患、膵炎、肝疾患、胆石症 | E2(4)-② |
| 5 | 腎臓 | ネフローゼ症候群、糸球体腎炎、電解質異常、腎不全、透析、腎移植 | E2(3)-③ |
| 6 | 脳神経内科 | 脳血管障害、変性疾患、頭痛、てんかん、筋疾患 | E2(1)-③ |
| 7 | 精神疾患 | 統合失調症、うつ病、双極性障害、神経症、睡眠障害 | E2(1)-③ |
| 8 | 皮膚、感覚器疾患 | アトピー性皮膚炎、白癬、蕁疹、緑内障、白内障、加齢性黄斑変性、突発性難聴、メニエール病、アレルギー性鼻炎 | E2(6) |
| 9 | 感染症 | 敗血症、髄膜炎、尿路感染症、結膜炎、副鼻腔炎、中耳炎、性病、AIDS、ウイルス感染症 | E2(7) |
| 10 | 悪性腫瘍 | 消化器癌(大腸がんなど)泌尿生殖器癌(乳がん、前立腺がんなど)悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、メラノーマ | E2(7) |
| 11 | 代謝疾患 | 糖尿病 | E2(5)-①-1 |
| 12 | 血液疾患 | 貧血、白血病 | E2(3)-②-3 |
| 13 | 内分泌疾患 | 甲状腺疾患 | E2(5)-②-3 |
| 14 | 膠原病 | 関節リウマチ | E2(2)-③-1 |
| 15 | 生殖器疾患 | 前立腺肥大症、子宮内膜症、子宮筋腫、異常妊娠 | E2(3)-③-6,8 |

■授業分担者

三田充男(No.1)、石橋賢一(No.2~10)、田中靖子(No.11~15)

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

MY-CAST を利用して復習し、疑問点はオフィスアワーを利用すること。期末試験 90%、出席(レポートを含む) 10%で評

価する。

■ 単位認定方法

出席・課題提出(10点)、試験(90点)

■ 教科書

必要に応じてプリント、演習問題を配布。

■ 参考書

navigate シリーズ(医学書院)

病気がみえるシリーズ(メディックメディア)